

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-147)、
廃棄物管理施設(122)、MOX燃料加工施設(2-99))」

2. 日時：令和6年2月7日(水) 16時00分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、藤原主任
安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口
係員

日本原燃株式会社

再処理事業部 事業部付部長(設工認統括) 他6名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月6日
提出資料に基づき、重大事故等対処設備の蒸気影響に対する防護設計方針
及び機器区分の考え方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・重大事故等対処設備の蒸気影響に対する防護設計方針については、現在作
成中の具体的な構造設計等の資料において、重大事故等対処設備の環境条
件、悪影響防止等に係る共通的な対策として許可との関係性を含め整理を
進める。
- ・重大事故等対処設備の機器区分の考え方については、第1回設工認申請時
に整理した材料及び構造の対象範囲との関係性を明確にした上で、追加し
て説明が必要な事項がないか整理を進める。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和6年2月6日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録音開始しました。
0:00:02	ただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:05	あと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設の廃棄物管理施設、
0:00:12	また令和5年2月28日に推薦あったMOX燃料のセキ承認申請について、
0:00:18	資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:22	ヤマザキショウガンの出席者を紹介しますと本庁会議室からコサクフジワアライオノヤマグチ、これも変えるからカミデニシナオオオカインダになります。
0:00:36	それでは日本原燃の方から出席者の紹介をし、
0:00:40	私らの説明会してください。
0:00:46	ハセガワイシカワイシハラaセガワ、岡崎、オザキニシムラになります。よろしくお願いします。
0:00:59	規制庁、山口ですね。
0:01:02	この資料を二つ用意されてますがまずは、はい。日本原燃、まずはですね、SA設備の溢水のうち蒸気影響に対する、
0:01:12	防護設計方針とこちらの方のご説明からさせていただきたいと思えます。1件1件できれば振って、御説明で話して、
0:01:23	それでは資料の方ですけども、FA設備の溢水のうち蒸気影響に対する防護設計方針についてという、
0:01:30	資料から説明させていただきます。資料の方につきましては、
0:01:36	去年のですね12月12日のヒアリング資料のうち、
0:01:40	FA設備の外部衝撃等に対する設計の基本的な考え方のうち、今回の具体として、FA設備の上記のSA設備の溢水のうち、蒸気影響に対する防護設計方針、
0:01:52	の方を説明させていただきまして、SA設備の外部衝撃等に対する設計の基本的な考え方の妥当性を説明させていただきたいと思えます。
0:02:01	白の方は、1ページのところに用紙の方をちょっとまとめさせていただいております。
0:02:07	下の方からいきますけども、蒸気の発生を想定する金、
0:02:11	事象に対する可搬型SA設備及び常設衛星設備の防護政府経営方針の方を具体的に記載させていただいてます。衛藤。
0:02:20	想定される事象につきましては、大きく2種類ございます。まず①の方ですけども、設計基準を超える事象である地震、括弧1.2Ssに対しまして、DB設備が、

0:02:33	安全機能を喪失する可能性があるというところで、管制設備及び常設設備とも重大事故に、等の対処に必要な機能を損なわない設計であることが必要であると考えております。
0:02:45	こちらにつきましては、重大事故等の対処に必要な機能を損なわない設計として、地震、1.2SFで、
0:02:52	加害者側の方が破損し蒸気を発生させないようなところにより、
0:02:58	ないことを評価することを確認して確認することとしております。
0:03:03	続きまして②の方ですけども、
0:03:06	設計基準事象である想定事象、想定破損の方につきましては、
0:03:11	可搬衛星設備については、
0:03:14	蒸気配管の内、外部保管エリアの方に、必要数括弧N以上を保管する配置設計を行うことで、重大事故等の対処に必要な機能を損なわない設計とさせていただきます。
0:03:26	また常設SA設備の方につきましては蒸気影響を受けないエリアに設置することが困難であるというところから、
0:03:33	蒸気耐性の高い部品を採用する設計を基本とし、しております。
0:03:38	ただし、
0:03:39	上記体制が、
0:03:41	確認できなかった部品を有する情報把握計装設備盤等につきましては、予備品を蒸気影響のないエリアに保管し、蒸気を受けた際に、部品を予備品により速やかに復旧すること。
0:03:54	で、重大事故等の対処に必要な機能を速やかに復旧すること。
0:03:59	することで対応させることで考えております。
0:04:02	なお書きですけども、
0:04:04	想定破損におきましては、DB設備、DB設備が、
0:04:09	発生する蒸気に対して安全機能を交付設計であることから、想定破損により、
0:04:16	蒸気影響でFA。
0:04:19	重大事故等の議員にはならないというふうに考えてございます。
0:04:24	用紙の方につきましては福士も複数、詳しく、
0:04:28	別紙、別添 1 の方に記載をまとめさせていただいております。
0:04:32	ページのほうめくっていただきまして、2 ページの方につきましては、AD RBでの記載内容についてまとめたものに、
0:04:39	ものですので、説明の方は割愛させていただきます。
0:04:43	次のページめくっていただきまして 3 ページですけども、
0:04:47	衛藤。
0:04:47	重大事故。

0:04:49	等対処設備における蒸気影響評価ということで、先ほど要旨で説明させていただいたものの背景も含めてまとめさせていただいているものになります。
0:04:58	可搬井清設備につきましては、位置的分散、環境条件及び悪影響防止の観点から基本の建屋内及び外部保管エリアで分散配置、
0:05:08	分散して配置設計を実施しております。
0:05:11	建屋につきましては、
0:05:13	主に空調用の蒸気配管になりますけども、そちらの方が張りめぐらされており、耐震性については確保しているのですが、区画を分けて、蒸気影響のないエリアを設けるような設計はしておらず、
0:05:25	想定破損に対しましては、建屋内の環境悪化が懸念されております。そのため、可搬SA設備は、そもそも蒸気配管の内、外部保管エリアの方に必要数、Nを、
0:05:37	保管するということで配置設計を考えてます。
0:05:39	先ほど、
0:05:42	パツと言いましたけども、上記営業評価においては、
0:05:46	2 事象を考える必要がありまして、一つは、
0:05:50	基準、設計基準を超える事象である地震と、基準事象である、設計基準事象である想定破損の方の二つあります。
0:06:00	それぞれにつきまして、先ほど、
0:06:03	記載させていただいてる通りですけども、
0:06:07	期首総務部長、かいつまんで大丈夫用紙でまずは多分言いたいことをまとめられてますし、一応ざっと皆の目を通してあるので、プラスアルファで説明したい部分があれば、わかりました。
0:06:21	はい。3 ページの方につきまして図示させていただいているということで、先ほど説明した中身が、こちらを見ていただけるとわかるとわかると思います。
0:06:31	2 ページの方につきましては、
0:06:33	想定破損事象の方につきましても同様に、
0:06:36	実施させていただきまして、デービーの方がまだ健全性があるということで、建屋内が仮に機能喪失した場合においても、
0:06:46	外部保管エリアの方で、機能維持された。
0:06:50	分散配置している。
0:06:52	井清設備があるところを図示しております。
0:06:55	5 ページの方行っただきまして、常設衛星設備の方につきましても、先ほどご説明させていただいた通りになって、基本的にはなっております、

0:07:04	一番最後の②のところ、
0:07:06	具体的に、
0:07:07	説明させていただきたいところになっておりまして、設計基準事象の想定から、常設衛星設備の配置の考え方に従い、基本、ジョウキタイセイノ高い部品を採用する設計を行う。
0:07:19	しております。
0:07:20	なお、
0:07:21	DPF整備設備が想定破損の蒸気に対して安全機能を発揮する。
0:07:27	確保する設計であるため、FA事象には進展しないと。
0:07:31	いうところなんですけども、ただし、
0:07:34	蒸気暴露試験により、
0:07:37	長期体制が確認できなかった部品を有する。
0:07:40	情報把握、
0:07:42	警報設備版等は、予備品を上経費のないエリアに保管して、
0:07:48	上計器を受けた際に部品を予備品に速やかに、
0:07:52	復旧することで重大事故の対処に必要な機能を速やかに復旧するという設計にさせていただいております。
0:08:01	説明は以上になります。
0:08:06	系統フジワラです。はい。
0:08:09	今回まとめられている。
0:08:12	拠点については許可のところからもちろん施行になるので、詳細な設計として、具体的にしていくところが必要であろうということで、説明いただいたのかなと思っているんですけど、今回この資料を、
0:08:25	整理するにあたって例えばその2ページ目なんかには、
0:08:30	許可の、
0:08:32	の6とかの記載が一部抜粋されてるんですけども、
0:08:37	重大事故等対処設備の基本設計方針であったりこの添付6の記載というのは、江藤SE設備全体を、の共通項目として、
0:08:47	すべての設備に対してこう展開していくっていうところもあって、具体の設計ってそんなに細かく書いてはなくて、大枠としての説明が一番大きいところだと思ってるんですね。そこを、
0:09:01	の中で、一部一番関係するだろうというところ、されてるのかもしれないんですけど、本当はこの人材に大枠としての設計方針があったり、もちろんこれ今、添付6ですから、
0:09:12	本文の方に基本設計方針が書かれているわけで、そちらではどういふふうな展開で、記載をしているのか、井清の場合は特に溢水として
0:09:22	対応するのではなくて、主

0:09:25	イトウからフクイ、
0:09:26	というような記載の中で、包含されて展開されている部分とかもあるわけですね。おつきく言っておいてそのあとに、水というふうに展開していったりと、
0:09:37	いうふうにされていると思って。衛藤。
0:09:40	から、どう、それを考えていって、今こういった具体の説明のところでは、ここまでぐらいしか、具体化されてなかったけれども今回エセ。
0:09:51	についてはこういうふうに具体的に展開していきたいんだっていうのがわかるようにしていただき、
0:09:55	いただいた方が、ちゃんと網羅性があるって、全体のことを、
0:10:00	認識した上で整理してるんだっていうのがわかるかと思うので、その点についての認識
0:10:12	日本原燃の瀬田ヤマダさんのご指摘の、
0:10:15	確かに上流から抑えていくというのは、
0:10:18	アプローチとして大事ですし、
0:10:20	藤原さんのご指摘、繰り返しになっちゃいますけれども許可では、やはり大きな傘で、
0:10:28	漏れのないように方針を展開したところでございます。設工認になれば、機器に着目して、一品品その特徴を踏まえて、詳細設計を展開していくという流れになりますので、
0:10:41	そこの展開をちょっと資料上ちゃんと見せてないのご指摘の通りですのでそこはしっかり整理させていただければと思います。以上です。
0:10:51	あと補足ですけど、その上で、今設工認でやっている議論からすると、詳細をやっていくと、
0:11:01	振り返ると上流の記載が足りなかったよなみたいなことがあって、対応して拡充していこうというようなこともやっている。
0:11:09	ということなので、それをですね一通り、いや、やりながら、こういうところでこういう問題がありましてというふうに言っていたかかないと、
0:11:19	結論的にこうしたいんですみたいなことで書かれてもですね。
0:11:25	理解ができないのですよ。
0:11:29	で、途中離席したのは、この表を持ってきたそうですけど、
0:11:35	今日どういう体制で、
0:11:37	こられて、この表とはどういう関係になってるんですか。
0:11:44	さっき、はい。
0:11:47	瀬川さんは、共通としてSAの。はい。
0:11:51	整理をしていくというところのグループ取りまとめ者だ。
0:11:56	はい。

0:11:57	ということで、そういう位置付けのご発言をいただいたという、ということで理解はできるんですけど、そのステージングチームとしてイシハラさんが、
0:12:07	ということはわかるんですが、あとは、どんな
0:12:11	形ですか、ですねSAの上記の方はですね確かにセガワノモトに、今この岡崎いるってことですね、実際その担当者で来ててもらいましたけど、
0:12:21	もう1個のですね精養軒の方はですね、
0:12:26	本当は構造の方の話になってくるんですよということなんですけど、実際構造の中でも要件をメインでやってる意味がちょっと出てきたというところですので、ちょっとそこのちょっと書いてある。
0:12:36	内容とはちょっとそごが出るかもしれません。
0:12:39	いやこれの下にぶら下がっている人が来られること自体は別に構わないんですけど、上の人は、
0:12:49	今、
0:12:50	この間も、
0:12:52	現在コウが、
0:12:53	最初に、
0:12:54	書いてないと。
0:12:55	いう話があって、それは今現状グループさあ説明グループさんのSAで、その範囲をカバーしてもらおうという説明をさせてただそこはちゃんと代行やリニア明確にしようねという、
0:13:08	次出すときに、
0:13:09	という約束になっていたと認識をしていて、少なくともSAでカバーしてますのチームが、
0:13:18	はい。うん。
0:13:19	少なくともその代行の関係で見てるメンバーの中に入っている人間を、
0:13:26	一応今回、
0:13:32	もう全くもってここでは、
0:13:36	はい。
0:13:37	アドウェイズともそっちなっちゃいけない。
0:13:41	それでいい。
0:13:43	だから、
0:13:57	リエゾン
0:13:59	そういう呼び方をしてるんですけど。
0:14:00	ちょっと、
0:14:03	はい。

0:14:06	10、
0:14:07	いる中の間2人でして、
0:14:10	リエゾンという言葉が非常に気に入る
0:14:14	これまで1年間リエゾンはいたじゃない。
0:14:19	で、リエゾンだから駄目だったんだと。
0:14:21	で、だからSteeringチーム。
0:14:23	を結成したっていうこと。
0:14:26	なんだけど、そのリエゾンの用語のもと、
0:14:30	担当として入ってるってどういうこと。はい。
0:14:39	違うなど。
0:14:42	下、現実ですね、彼ら実際炉の審査の経験とか、特重含めて、こうありますんで、
0:14:50	STでは
0:14:51	あれはもうちょっと全体でますけども、一つの例えば、彼であればそのSAとかですね。
0:14:58	であれば今後あると。
0:15:00	ですね、入って、そこに入ってる人間を、
0:15:04	レベル上げていくと、というような活動をやっているというのが、彼らなんです。
0:15:09	その中で、ちょっとその共通中に何かこう一緒にこう作っていく中で、その方針、詳細具体固まってないよね。
0:15:18	というのが問題提議を彼らしてはいてですね、これを解決しないといけないよね。
0:15:23	ということで、
0:15:27	ミナミを作って、
0:15:29	御説明
0:15:33	読んでリエゾンっていう、
0:15:35	リエゾンって私の理解では、伝達者的な意味合いでやってんですよ。
0:15:40	ええ。
0:15:41	パスを回す人ではないと思ってきたと。
0:15:44	なっちゃってた。
0:15:47	あんまり
0:15:48	あれが好んで、
0:15:59	受け入れ側からするとやってくれる人に文句は言えます
0:16:04	かね。
0:16:05	かなり真野の経験もって、
0:16:08	ずっとは

0:16:09	うん、技術的なところで入ってもらおう。
0:16:14	ふうん。ちょっとつそのセガワの下ですね。
0:16:20	実情。
0:16:24	担当で入って、いや、
0:16:27	ておられる人とリエゾンで西来いるのかなと思ってたんですけど、そうじゃなくて、もうリエゾンというの人はもうそういう入り込んでやってる人なんだっていう理解にしとけばいいんですか。そう思ってください。
0:16:44	それで、
0:16:47	先ほど藤原が言ったところで言うと、
0:16:50	共通 12 という補足資料があつて、その中に資料 123 とあつて、主に資料 2 の、
0:16:58	ところで、そういう展開をしているんだということをご存知なんですよ。
0:17:06	その作業は今どうなつてこの資料になつてるんですか。
0:17:15	違うどっちでもいい、今日、この蒸気はグループに、
0:17:22	いや、いや、作業先生が書いてるんですよ。グループにも、並行してやりなさいよって話をしてまだ資料提示はなつてないけど、原燃内でもやってるんでしょ。
0:17:33	もちろんです。まさにですねこれがアノセキ基準側でやられていることとの差分、
0:17:42	井清としての特有な設計というような位置付けで、資料に資料 3 といったところを展開することで作業を進めています。
0:17:51	で、今日この件、ご相談させていただいたのは、そのまま
0:17:58	詳細にですね年末に
0:18:01	重大事故の発生と関連性のない外部衝撃に対しての設計の大枠を語らせていただきましたけれども、それに対する具体の説明がないものですね。
0:18:13	共通中にこのまま進めていかどうかといったところで、
0:18:17	少し戸惑いというか、悩みがありましたので、今回、
0:18:22	これをもってですね、ちょっと踏み込んだ議論をしたいなと思った次第なんです。はい。意図は何となく想像できるんですけど、それが議論できる資料になつてない。
0:18:35	それはなぜかっていうと、基本設計方針許可の本文事項なり、基本設計方針っていうところのどの部分をどう議論したいのかと。
0:18:44	いうその土俵がわからないんですよ。
0:18:49	最後行き着く先だったり、気にしてることはわかるんですけどそれの方に着目してると。

0:18:56	なので、それをその資料 2 の分解をして、どこの関係なのかそれをどこに持っていきたいとか。
0:19:04	いうことのエッセンスがわかると、この部分で議論したいんだな。
0:19:10	で、それで大丈夫そうだなっていうのがわかるんだけど、
0:19:14	現状妥当、
0:19:17	どこの部分が焦点当てなきゃ先ほど藤原が言ったように、悪影響防止のところなんです、環境条件のところとか、
0:19:25	そこら辺の論点もクリアになってないんですね。
0:19:29	そこをまず整理して欲しいということになるんだと思うんですよ。
0:19:34	それやっぱ、今、主にグループ 1 の方で、竜巻をメインにしなながら話をしてることと一緒に、
0:19:41	そのやり方を踏襲して欲しい。
0:19:45	ということなんです。はい。
0:19:48	一つ踏襲するものがまだ整理できてないんじゃないですか。
0:19:53	なので、早くあれをやんなきゃいけない。
0:19:56	で、あれをやるときに、多分これ取りこぼされるんですよ。
0:20:01	多分竜巻だけを考えてね。うん。
0:20:03	なので、竜巻をやっているときに、同じようにこれ考えて、いや僕らここがこう問題だから、合わせて入れてくれよ、これも解決できるように整理してくれよというふうに、
0:20:14	入れていかなきゃいけなくて、
0:20:15	なので、グループ長に並行してやっというてねって言ったんです。なるほど。
0:20:23	いつも、他のグループでの説明で困らないように、リレーに叩き落とす。
0:20:33	竜巻だけやっていると、竜巻はいいかもしれないけど、内部事象のつかんねえよと。
0:20:38	なるとまた同じ議論をもう一度やんなきゃいけなくなって、そうすると、その辺帳じりを合わせるように外部事象もまた変えなきゃいけないかもしれない。
0:20:45	なると手間なので、一緒にやってくれて、
0:20:49	ちょっとですね、今日、本日提出させていただいたBSM設計項目について、
0:20:57	資料ですね。
0:20:58	の向きを軸に、
0:21:01	80 オカノ竜巻がフルスペックで作ると、あとパス出し側の 36 条の資料にも、
0:21:08	あわせてフルで、うん。

0:21:10	本日提出。
0:21:11	なってるんですけども、
0:21:13	ちょっとくじったなど今思ったのが、まさに、溢水の部分ですね、内部ハザードの部分は、
0:21:21	ツジっていう、
0:21:23	整理してしまつて、
0:21:25	せつかくこの作業してるんだから、そしたら、完成形じゃないんですけど、書き込んでおけばよかったんです。ちょっとこの片りんが見えるぐらいはそうそうそうそう。
0:21:35	かみ砕いて記載できてよかったなつてちょっと思いました。
0:21:40	そう。
0:21:42	そうですね。細々並べばいいようなものの作業なんかどうでもよくて、やってもいいんですけど、
0:21:47	担当がいろいろなやってもいいんですけど、
0:21:50	竜巻と溢水なんですよ。
0:21:53	下、前も言っていましたけど、現地確認の中で、問題点とか、論点になりそうところは話をしているわけですよ。
0:22:00	そこをどう取り扱うのか、っていうのは、早く整理したら言って、
0:22:08	その点だと蒸気影響だけじゃないですよ想定破損もありますよね。
0:22:15	いうことだから
0:22:17	ここ想定破損が明示的にあんまり入って、
0:22:21	ちょっと書いてあるんですけど、大丈夫っぽく書いてあるところからすると、ちょっと甘くて、
0:22:30	こういう状態では
0:22:32	復旧してから対応しますよみたいなことはある。
0:22:36	だから、そういったところをちゃんと論点整理して、
0:22:41	明確にしておくよ。
0:22:43	いうことは大事な作業と、
0:22:45	で、
0:22:46	今日、今日提出はしょうがないにして、
0:22:52	今日の話の踏まえて、早く次のバージョンとして溢水は入れていくと。はい。論点抽出をして、
0:23:02	その中で議論
0:23:04	していくという形につくり込んでもらった方がいい。
0:23:12	ん。
0:23:15	はい。
0:23:17	その点では今回用紙で 0102 っていうことで、

0:23:22	行きましたけど、
0:23:24	そういう論点、
0:23:26	ではなくてさっき言ったように影響、環境条件、
0:23:29	という関係での設計と悪影響防止というか、との観点での設計とていうふうに、上流の分け方と整合とって書いた方が、
0:23:40	よくて、それぞれに1.2Ssってのが出てくる。
0:23:43	うん。ですよ。
0:23:45	その時に、加害者被害者とそれぞれあってと。
0:23:49	いうことだから、いきなりまとめちゃうとわからない。
0:23:56	気にして書いてくれているっぽいんだけど、
0:24:01	ちょっとそこが、
0:24:03	書ききれないように見えるんです。
0:24:08	なので、再度資料2の形での整理を念頭に、
0:24:14	抽出をしてもらおうと、議論
0:24:20	で。そうしないと、
0:24:23	多重性の
0:24:26	話でカバーできることなのか或いはそこでカバーしてはいけなくて、それぞれで対応しなきゃいけないのか。
0:24:34	議論をどこで収束させるか。
0:24:45	でそれでいうと2ページがちょっと残念です。
0:24:49	入口だったわけです。
0:24:52	これも本文があつてってところもちょっと考えてもあるんです。
0:25:00	そこら辺をカバーするのは一番最後のページ。
0:25:04	かなっていう気もするんですけど。
0:25:07	ここから何でその部分だけ抜き出したのみたいな感じもあるし、
0:25:11	もう少しその間を埋めるところをやんなきゃいけないとそれが資料2ってことになるんですけど、はい。
0:25:19	ちょっと石原さん瀬川さん、そういう。
0:25:22	いろいろと変えなきゃいけないってなるとすると、
0:25:28	今日の濃縮のベンダーの方の話になりますけど、
0:25:33	今日中にだけだとちょっと、もう基本設計方針ありきになってるので、
0:25:38	00ろう資料BCGもセットD、
0:25:42	やってカナイトウ許可でどうなのとか、
0:25:46	それを踏まえてこう変えとかっていったところの話ができないかなあ。
0:25:51	思うんですけど、セットにしてもらっていいです。
0:25:58	作業が発生しますよね。
0:26:02	はい。

0:26:05	ていうので
0:26:07	何だろう。
0:26:09	改善事項はまだ十分練れてなくてもいいからとりあえず、
0:26:14	現状最低限あるわけ。
0:26:17	でしょ。
0:26:18	何だっけ。
0:26:20	本文 8。はい。うん。多分入れ込んだところまでやってあるわけだから、
0:26:25	とりあえずその分入れて、ここがちょっと変える必要があると、この作業で思ってるのであれば、その旨追記するぐらいにして、
0:26:36	横に並べながら議論ができるように、
0:26:40	てもらえればと思います。
0:26:53	押田さん、大分、割り込んでしゃべっちゃったけど、
0:26:57	足りてないかな。
0:27:00	梶原です。基本的には大枠でお伝えいただいたので、大丈夫なんですけど、今日の説明の中でも、一部、ご自分で言葉として出ないと多分通じないと思って出されている部分とかあるじゃないですか。
0:27:13	どうしても見ると、主語は何か、何の設計を言いたいみたいなのところが、例えば、1 ページの①の文章の二つ目のではなくって、何の設計の話しようとしていますかとか、
0:27:25	主語は何かわかんないんですよ。
0:27:29	ただ、後を読むと、多分こういうことが言いたいんだろうなっていう推測ができるっていうレベルなので、そういったところも、ちゃんと、
0:27:38	補足しなくても、
0:27:39	なんだ人がわかるような形で書いていただくと、もうそこをまたずれることとかもないですし、補足いただくこともない。
0:27:47	スムーズに進むためにはそういったところも留意していただければと思います。
0:27:54	了解しました。
0:27:57	あと、これは今後なんですけど、
0:28:01	ヒアリングの説明の時に、あまり書いてあることを読む必要はなくて、
0:28:07	逆に資料館の関係性、今その並べてを議論できるようにしましょうと言ったら、並べるだけになるじゃないですか。
0:28:16	その関係性まで文章に変えていくととても作業としては大変なので、
0:28:20	そこは書かなくて、はい、いいけど、説明の時に、C、こっちの資料でこうなってるやつをこっちの所でこうしました。
0:28:28	タテの補足する。はい。
0:28:31	書いてることは見てますから。はい。

0:28:33	何でってちょっともやもやとしたところを、事前に説明してもらおうと。
0:28:38	それを踏まえてああだ、そうだったのでこういう理解できるね。
0:28:43	でもちょっと僕がやっぱりわかんないなっていうところからスタートできる。
0:28:46	ということなんで、その点で、今後対応いただければ、
0:28:59	もっとこのぐらいで大丈夫
0:29:06	いや、やりたいことは結局そっちで、
0:29:09	そうです、対応したいっていう、それが許可で読めますよねって。
0:29:13	ということだけですポイント、
0:29:17	うん。何か判断するためには、先ほど言った紐付けをちゃんとして、はい。ここの部分の膨らましねっていうところを確証取るということ。
0:29:28	であり、それをヒアリング資料として求めていくと。はい。
0:29:32	ということなんでしょうから、まずはその体験を示してみてください。
0:29:37	ということ。
0:29:38	です。
0:29:42	その点でやっぱり環境条件のところの言い方ってのがやっぱ大事gだと思っんですね。
0:29:49	この表現であれば泳げてますよね。
0:29:53	いえるのかなというのがちょっと疑問なんです。
0:29:59	不安だから、ちゃんとちゃんと言ってくださいと。
0:30:07	それで読めるんですっていうのであれば、こうこうでということを書いて、そこまで分析されてればそうですねっていえるようにしてください。
0:30:20	ちょっと資料はまた整理し直しですから。うん。はい。
0:30:26	まずはグループ1とグループ2のとりあえず話と資料2の方に道路とかというところを含めて、でないといけない話ができないので、その上で、ERDから設工認落とし込む時の、
0:30:38	鵜飼見てくれ
0:30:41	考え。
0:30:44	スミダ
0:30:44	います。
0:30:47	最後のページの、
0:30:50	環境条件のところって、
0:30:53	土肥水門を書いてある、どうこう、
0:30:59	どうっていう
0:31:03	とって言うと一緒に書いてね。
0:31:05	神経がちょっとよくないですね、これー。
0:31:08	上流のところ、

0:31:10	もうちょっと下流側に行くと溢水っていう、うん。
0:31:15	そうですね周辺なり人員なり、
0:31:19	人事の中に入って、中清木、ああそうですか。はい。
0:31:26	で、考慮するだけだからこの考慮ってどういうことっていうのがこの後段にも書いてあるってことですよね。はい。
0:31:32	それが読めるか読めないかって言うことになる。
0:31:36	D悪影響の方も同じかなと思ってみると、書いてないんですよ。
0:31:41	今日はですね。
0:31:43	明確2個、それこそですね、昨年末、
0:31:48	少し議論させていただいた中で、この悪影響の関係。
0:31:52	すべきかっていうのが具現化されたと思ってしまして、うん。それこそ共通要因で見る自然現象、人為事象周辺機器の影響というものを考慮したときに、
0:32:02	井清設備が、それによって何か加害者に変換されて、周りに悪影響を及ぼさないよねという観点でしっかり心がけるよう講師は、設計を語っていかなきゃいけないと。うん。
0:32:15	いうやりとりをさせていただいて、
0:32:18	います。なので
0:32:20	許可の表現としては、すごくバクツとしちゃってるんですけども、それを設備部としては、今申し上げたような観点で、より具体化して、
0:32:29	展開する必要があるんだろうなというのは認識はしておりました。うん。
0:32:34	なんでこれ書いてないんですかね。
0:32:37	こんだけ何か、あえてこれだけ守れば他は守らなくても大丈夫ですよみたいに、
0:32:43	そうですね、重大事故等における条件を考慮し、っていう中で動作下から3行目のところ、キーワードは一応いるんですね。うん。この重大事故等における条件といったときにはその共通要因みたいなものもいろいろ含んでの表現。
0:33:00	になろうかと思しますので。うん。はい。
0:33:03	昆常務。
0:33:05	うん。そうですね。はい。
0:33:07	うん。
0:33:12	と。
0:33:15	ここはテンプレだから、
0:33:19	変えても
0:33:21	いいかなっていう範疇だと思うんですけど。
0:33:24	これに対応する本部だったり、これ本部のやっぱり、

0:33:29	ちょっと悩まタダアリタね、プラスやる分には何も問題ないから、
0:33:33	少なくとも、悪影響防止でいうと、そもそも悪影響防止で言わなくてもDBの設計として悪影響防止があつてついうところは当然守るものだしつてという言い方もあるから、
0:33:49	そういうのも、
0:33:50	踏まえつつ、
0:33:52	許可、
0:33:53	がバツではないよという範疇であればいいんだけど、
0:33:59	そこら辺の言い分がいいわけですかよくわかんないですけど、そういうところもちょっと念頭に、
0:34:06	どう、どういう関係があるか。
0:34:10	どう今後対応していくかっていうことは、整理をしてもらえるといいかなと。
0:34:17	で、将来的には安全性向上評価、
0:34:21	帳じり合わせるのも、濃縮で今上場してますし、
0:34:28	ありだと思いますから、
0:34:32	はい。それも、
0:34:35	含め、
0:34:42	です。この環境条件の経験募集の議論になんか個数、容量がまじって話をしちゃってるような、
0:34:50	単純に今日の資料、
0:34:52	出るのが、何かごまかした感が見える。
0:34:55	に見えちゃうんです。
0:35:00	いうので
0:35:01	分けながら、
0:35:06	整理するといいかなと。
0:35:18	今日提出する資料みたいなのはそこはそう議論できるようになっているのか。
0:35:24	好きじゃない。
0:35:27	15時57分ですね、提出されてまして、いやいや、
0:35:33	なってるのかなってない。いやのみ見てないから質問してるだけだと。
0:35:40	一応ですね、ヒグチから、
0:35:42	悪影響の観点がどう展開されてるかっていうのは、竜巻だとかあと1火山入ったかな。
0:35:51	全部ではないんですけどある現象が、起点となって、SEが、周りのDB設備に悪影響を及ぼさないよねという展開の様は、一応見えるようにはなってます。はい。

0:36:04	はい。36 条の資料 2 の形でそれぞれの項目があって、その中でしっかり書き込まれてますっていう形にはなってる
0:36:14	たとある事象、はい。
0:36:16	はい、わかりました。じゃあそれ一で、
0:36:18	議論ができるまでになってるかどうかは、そのヒアリングをやり、
0:36:24	そこでの反映もする際に、溢水も入れて、はい。対応すると、全体が 1、
0:36:31	はい。
0:36:32	方向が見えて、
0:36:34	いうことで進めてもらえれば、
0:36:44	大丈夫。
0:36:47	ちょっと困ってる中で、
0:36:50	金小の対応って、炉でやってないんでそこなんですね。では、炉は重大事故の発生要因って別に、何だかわかんないけど、機能数こんだけ重なったら、
0:37:01	こんな事象に展開になっちゃうから対応をとりましょうっていう発想でしかないので、
0:37:07	原因まで送っているのか。
0:37:09	PRがない分、
0:37:11	頑張ってた考えた一歩先に逆に、うん。行かざるをえなかったっていう状況で、それを手当してるので、ちょっとここまでやるんだっていう、
0:37:20	感じで、どの人思うと、
0:37:22	ですよ。
0:37:23	現基準を超える事象等、基準事象である想定破損みたいな種類があるところが、ちょっと書き方難しいなというふうに思ってるところになってまして、具体的な対応としては今回ご説明させ
0:37:35	ていただいたところを変えていくのかなというところと、そもそも事象が、
0:37:41	DBを超えるようなところなのか超えない、DBでも同じようなことなのかっていうところで、うん、対策が変わってくるというところを整理して、変えていくのかなという認識を持てますはい。はい。
0:37:52	言われてる通りで、事象に応じて対応変わっていいということで許可でも話して、
0:38:00	外部事象要因と内部事象より大分扱いが違うので、整理がフェアされてるというところがあるので踏まえて、対策を考えて限り、はい。
0:38:12	はい。
0:38:13	はい。
0:38:16	清ヤマグチほかこちらの資料について規制庁側から確認ありますでしょうか。

0:38:25	続いて次の資料について懸念。
0:38:28	それは、はい。日本原燃水村でございます。よろしく。
0:38:34	考え方について、
0:38:38	今回お持ちさせていただいたのはですね目的としますとSA設備の主要設備リストの方に機種区分、
0:38:45	結局文を書く際にですね、我々の考え方はちょっと認識が合ってるかというところをご確認させていただきたいというところと、
0:38:53	機器区分というのは溶接検査にもひもづく食うものになってございますので、その観点で今回、我々考え方をまとめてきましたので、ご認識を確認させていただきたいというところでございます。
0:39:06	1枚目でございますけれども、SA設備というのを、牧区分というのとはですねもともとDB設備の頃からある考え方でございますので、
0:39:16	そのデービー設備の比木区分の考え方についてまずは整理した上でSs設備の機器区分、
0:39:25	考え方と、
0:39:26	いうところをまとめて参りました。
0:39:28	様子のところでございますけれども、
0:39:33	ですが、地域区分というのはですねご存知だと思んですけども溶接検査をする際の溶接設計区分として設定されるものでございます。
0:39:42	それでございますのでまずは溶接検査に係る考え方はですね規制上という等々を整理した上で、その上で、そのSA設備の機器区分の考え方と、
0:39:53	いうところを整理したというような順番になってございます。
0:39:57	ヨシノヒトミ
0:40:00	新規性基準前後におきまして、JB設備の溶接県
0:40:04	聞く。
0:40:05	かかる規制要件が変更はないというところで考え
0:40:10	ます。
0:40:10	もともと新規基準前にはですね再処理規則の方にデービー
0:40:17	効きません。
0:40:19	いうところが規定はされてはございます。
0:40:22	清木岩瀬
0:40:23	して技術、
0:40:25	方に、内容としては全く同じ内容が移行されていると、いうふうに考えて
0:40:30	それらを踏まえましてデービー設備に係る溶接検査なり機器
0:40:35	いうところについては
0:40:37	いうふうに、

0:40:41	先ほども言ったようにポイントだけでいいということなんですけど、はい。
0:40:47	ちょっと、これから具体はカミデの方に話をしてもらおうかなと思うんですけど。
0:40:51	この話って第1回にも話を。
0:40:54	している。
0:40:57	こんな話にはなってなかったって言うようなことってご存知です。
0:41:01	機器区分の考え方っていうところ。
0:41:04	うん。基準が変わってませんっていうようなことは、
0:41:07	そういう話はしてるんだけど、昆こういう言い方で整理してあったり、ありましたっけ。
0:41:16	そこら辺が何か、
0:41:19	ゼロスタートになっちゃってるように見えるんですけど。
0:41:24	そういう継続性を持った話をしてもらわないと。
0:41:28	混乱するんですけど。
0:41:30	いうことだけど、まず事実関係として認識してたかしないかっていうと、
0:41:34	してない。
0:41:35	じゃないですかっていうのはちょっとハヤシからゼロスタートでちょっとご説明させていただいて、
0:41:42	うん。
0:41:43	それだと困る。
0:41:46	そうしたいんだったら前回こうで、こういうふうになっちゃいましたと。
0:41:52	こういうふうだからこういうふうにしたいんですっていうふうな言い方をしないと、
0:41:56	困ると。
0:41:57	ということなのでそこら辺の詳細はちょっとカミデかなと思ってます。亀田さんすいませんお願いします。
0:42:06	メッセージ直管理ですけど詳細って言ってもあれなんですけど。はい。材料、
0:42:12	材料構造って第1回でもやってて、それぞれの資料もあれば、
0:42:19	補足説明も四つぐらいあるんですよ。
0:42:24	何。
0:42:25	今日の今の時点でもう読んだことないってことですか。
0:42:30	いやすみません存在ははい。認識してございます。
0:42:37	はい、規制庁カミデって、そこに書いてある話と、特に在庫01ですけど、在庫01って、要件だけじゃなくて、

0:42:47	材料構造として、十四条後SAもそうですけど、17条と37条かな、どうい うものを対象にしていきますかっていうのを整理していった資料なん ですけど、それは読んでない。
0:43:01	資料としては確認はしてましてそこは主に構造評価の方の考えをご説 明させていただいたというふうに考えてございまして、
0:43:12	この主に溶接検査機器区分の溶接検査のところについてはですね、そ の溶接検査を実施するというふうな、
0:43:19	整理をさせていただいたと思い
0:43:21	ので、今回ちょっとその溶接検査の詳細についてちょっとご確認をさ せていただきたいというところで、ちょっと持ってきた次第でございます。
0:43:31	規制庁カミヤイシハラさんもそういう認識でした。
0:43:37	入院でしょ。
0:43:38	ダイゴで一井。まず一つは大きなのは、今新島の方から言って在庫の 対象にするものって何だと。
0:43:48	いうのをDBとSAで登場させて議論をして、
0:43:52	あとはだけ、若干ミヤザキ区分の話も、8年度と比較しながら整理して 図を載せていて、プラス引き。
0:44:04	プラス短期循環だったり、に適合する対応をする、最初にきちっと一体 何種ですかみたいな議論をしているっていうのは認識をします。
0:44:14	その辺の考え方をババSAイデやりながらもDDはそれを会津矢部を踏 襲しますよという整理で説明をしていたという経緯など、
0:44:27	規制庁カミデすけどそうすると、最初説明のあった在庫ゼロじゃ共同の 評価の話だからっていうのは違うってことですよね。
0:44:42	現状月です。その通りです。まず、在庫 01。
0:44:48	そうですね。
0:44:50	材料等は、
0:44:52	将来を進むっていうところでもありますけども、
0:44:55	収斂するについては、淡々だろうっていう、
0:44:59	技術基準。
0:45:00	本当に多くなりますっていう整理だけ終わってまして、
0:45:04	今回はそい踏み込んで、じゃあそれをどういうふうに減免として噛み 砕いて理解していくんでしょう。
0:45:11	ていうところですね。
0:45:13	しています。
0:45:15	ということです。
0:45:16	今日位置付けます。
0:45:19	在庫

0:45:20	考え方変えたか。
0:45:22	そういう意味ではなくて、
0:45:26	規制庁カミデですけど今在庫ゼロ中とか、ちょっと手元で撃つなくてあれなんですけど 31 ページとか見る等、
0:45:37	いろんなものからですけども、
0:45:40	主要の溶接部ってどんなもんですか中に入ってるものがプルで北井だとこれぐらいのベクレルですんでHAだとこれぐらいのN-Sでっていうので機器区分と一緒に 134 集合してちゃんとなって丸付けまでしてあるから、
0:45:57	全く同じ話をされてるような気がするんですけど、何か血ん何か違うって言われたり、
0:46:05	と言われて全然理解ができません。
0:46:09	コサクですけど、
0:46:13	少なくとも、
0:46:14	区分で書いてマル付けしているわけだから、4 節のことではなくてではないことは間違いない。
0:46:20	主要の溶接部ってどういうものですかっていうことを話をした。
0:46:24	いうことであり、
0:46:26	それをどう一歩踏み込んだか全然わからない。
0:46:31	ダイゴ 01 に書いてある、その 9 人の前提。
0:46:36	として認識している条件が、
0:46:40	常時その放射性物質が存在する。
0:46:44	状態。
0:46:45	設計基準がごめんなさい。そんなことどこにも書いてないじゃんっていうことを私は前から言って、そうではないんですっていうんだったらその説明をしなきゃいけないけど、
0:46:55	理解は多分できないと思う。
0:46:57	勝手な原燃の理解でしかなくて、そんなことにはならないはず。
0:47:02	出し硝酸だって、
0:47:05	国会、今回提示された資料の中で、重視しますと書いてあるけど、重視するんだってそれだけでいいなんてどこにも書いてない。
0:47:13	プラスアルファの要件だと。
0:47:16	いうことであり、それ以外はやらなくていいなんていう規定にはなってない。
0:47:22	いうことで入口からして間違ってると思うので、
0:47:25	再検討してください。再検討すいませんちゃんとやってくださいって。
0:47:28	しかないと思います。

0:47:32	なので、
0:47:35	重複してご説明するのではなくて、今回新たに考え方を抜き出してご説明させていただくと。
0:47:42	いうところはさせていただきます。
0:47:45	常時
0:47:48	今回まとめておるんです。
0:47:51	改めて
0:47:54	1 回目の内容と重複してるところ。
0:48:01	変えるんだったら変え、
0:48:03	変えるとかちゃんと言わなきゃいけないし、
0:48:06	変える理由としての妥当性
0:48:11	クリクリ
0:48:15	原燃。
0:48:16	ネタは、
0:48:17	子供でもそういう状態
0:48:19	で、
0:48:20	それで全部やり直しになっている。
0:48:25	Steeringチームなり、リエゾンできた方っていうのが、それにだまされないようにという語弊があるかもしれないけど、
0:48:33	安直に乗らないように、
0:48:35	本当にそれでいいのかっていう意識を持って対応しないと、
0:48:38	すみません。
0:48:40	いうこと。
0:48:42	です。
0:48:43	そのあたりのロジックの組み方っていうのは、簡便
0:48:47	出身者は得意なんだと思ってます。
0:48:51	いるんですけど、
0:48:53	その分我々はだまされないように
0:48:56	リスク、
0:49:00	はい。
0:49:02	しっかりと組み込んで、はい。
0:49:07	うん。特にいいとこどりっていうところじゃない。
0:49:11	これなら間違いないなということで、組んでもらいたい。
0:49:16	ます。
0:49:17	何分ですね、これは
0:49:20	お詫びするようなどころでもあるんですけど、

0:49:24	あまり基準類、解釈の文言としても練り切れてない。
0:49:31	ですよね。
0:49:32	なので文言だけで見ちゃうと、
0:49:35	何かよさそうな感じになっちゃうんだけど、
0:49:38	本当かっていうところは、考えて欲しいんですね。
0:49:44	申し訳ないけど解釈なりなんなりだと、こちらは紙を外します。
0:49:48	もっと考えたら、やっぱりそれおかしいんじゃない。
0:49:51	ということは、多分にありますので、その点では文言にこだわらず、内容として本当にいいのか。
0:49:59	というようなことを考えて対応いただければ、
0:50:01	思いますすいません。
0:50:04	政治。
0:50:12	規制庁カミデですけど、
0:50:16	今回この資料で話をし、したいなって思った動機って何だったですか。何の作業を進めるために話をしたかったんですか。
0:50:24	日本原燃、津村でございます。
0:50:27	主要設備リストの機器区分をですね、今ちょっと書いてない、SASについてはダムがないような状態。
0:50:34	ありまして、ちょっと追加をしようと思ってるんですけども、そこでちょっと事前にその考え方が合ってるかどうかというご確認させていただきたいのと、
0:50:43	機器区分がイコール溶接検査にもひもつきますのでちょっとものづくりの観点で、ちょっとタイミング、
0:50:51	その二つの観点でご確認、すいません。
0:50:54	規制庁亀井です。共通 12 の資料 1 をまた作りちゃんと作り込まなきゃっていう時の作業の話ってことですか。そうですね聞く分聞く分についてはその通りでございます。
0:51:07	はい、規制庁カミデそんな時に、まずは在庫 01 を見ればよかったんだけど、
0:51:14	水にミイなっちゃったっていうのが何か前、実態のような気はしますが、まずはそこをしっかり見た上で、さらにそのSAとかアノ河畔のところだと、在庫 01 の今の記載だと読み切れないとか、
0:51:29	あとはもっとこういう観点で、腐食環境にも考慮して手当した方がいいなっていうのであれば、第 1 回で話した内容を、こういうふうに拡充しますっていう話をしてくれれば話が聞けるのでそういう説明にしてくれればと思います。
0:51:48	はい。わかります

0:51:51	私の方は以上です。
0:51:59	山口です。他町側から昨年ございますでしょうか。
0:52:09	原燃側も特に追加でご説明よろしいでしょうか。
0:52:13	古作です。
0:52:15	あとですね、溶接検査もないんで、
0:52:19	そうですね溶接事業者検査、そこら辺がちょっとまだ引っ張って引っ張られてるなっていうのが多分にあったので、2020年の前から、
0:52:31	これ私の辺りも整理をしたい。